

2026年 1月 1日

初詣 礼拝 11時～

司 会

佐々木智行師（石井 潤師）

奏 楽

祈 禱

賛 美

聖歌584番「新しき地に踏み出だす」

～イエス様私にいつでも笑顔を／愛と賛美み父にささげ～

主の祈り

聖書朗読

ハバクク3章1～2節、17～19節

特別賛美

香月 健氏・佳子氏（ピアノ：礒野詩恵姉）

メッセージ

「それでも、私は喜び^{おど}躍る」

大川 従道 主任牧師

献 金

讃美歌291番「主に任せよなが身を」

賛 美

～シャローム、シャローム～

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★新年明けましておめでとうございます。今年も主の恵みが溢れるように。

☆今年の御言葉（ハバクク書3章18節）をお持ち下さい（一枚10円）。

★今年の「祈りのリスト」と「今年の目標」をご提出下さい。共に祈ります。

☆今年の聖書通読表が届いています。聖書通読をチャレンジしましょう！

〔2026年のみことば〕

「それでも、私は主にあって喜び わが救いの神に喜び躍る。」

ハバクク書3章18節（聖書協会共同訳）

「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。

あなたがたを元気にしてあげます。」

マタイによる福音書11章28節（ドイツ語訳）

「2026年 新年のごあいさつ」

～主任牧師 大川 従道牧師～

明けましておめでとうございます。旧年中はいろいろとお世話になり、熱い祈りを捧げて下さって心から感謝しております。Xマスカードに、89歳の方が「大川先生のことが大々好きです。そして尊敬しております。」と書いてあり、もう84歳になろうとしているのに、初恋の人にお会いしたかのように、顔が赤くなり、穴があったら入りたい気持ちになりました。これなら、2033年まで元気で伝道できるかなと思い、いつの間にか、エクボが可愛く登場しました？！

私が愛読した本のひとつに、伊藤肇著『リーダーの帝王学』というものがある。その中に「可憐な叱られかたをしろ」というものがある。

今はなき小泉信三先生（慶応義塾大学）が、皇太子殿下（現上皇陛下）に御進講申しあげている最中、テニスのあとの疲れが出たのか、殿下が居眠りをされた。普通の講師なら、見て見ぬふりをして、講義をすませてしまうところだが、小泉先生はそうはいかなかった。

きっと、殿下を見つめると、声を励ましてお叱り申しあげた。

「殿下！私がここで一時間御進講致すためには、一週間、精進潔斎して、勉強して参ります。それを居眠りなさるとは、師に対する礼を失します。どんなに眠くても、両眼を見開き、姿勢を正してお聞き下さい。」

「師に対する礼儀」こそが教学の根本である、と小泉先生は教えられた。

以来、皇太子は、どんなに辛くても、「侍座」して講義を聞かれた。叱る小泉先生も偉ければ、それを虚心にうけて、態度を改める皇太子もやはり偉い。

大川牧師は、この教えを心に留めて、車田秋次師、山崎亭治師、米田豊師、小島伊助師、本郷善次郎師、浅野順一師等の講義を受けた。日曜礼拝をどのような心で守り、御言葉をどんな心で受けるかは、その人生に大きな影響を与える。私は天に召されるまで、この姿勢で主の御声に従順したい。

私も本気で祈り続けます。私のため、伝道者一同のためお祈り下さい。